

第11期決算公告



平成29年5月31日
 栃木県宇都宮市宿郷2-7-3 IRビル5F
 株式会社ダイニングファクトリー
 代表取締役 人見 洋二郎

貸借対照表

(平成29年2月29日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	(474,740,585)	流動負債	(481,068,754)
現金及び預金	316,326,227	買掛金	106,711,738
売掛金	19,828,079	未払金	83,528,581
たな卸資産	43,829,371	未払費用	8,650,339
前払費用	50,030,548	未払賃金給与	83,407,127
短期貸付金	1,434,996	前受金	3,512,924
未収入金	25,189,424	賞与引当金	300,000
立替金	3,821,845	未払法人税等	3,264,500
その他流動資産	14,702,989	未払消費税等	17,959,000
貸倒引当金	-422,894	預り金	2,399,349
固定資産	(849,131,961)	1年内返済予定の長期借入金	153,797,000
有形固定資産	(696,312,662)	1年内償還予定の社債	16,800,000
建物	329,222,412	仮受金	738,196
建物附属設備	261,367,363	固定負債	(727,028,840)
構築物	6,395,131	社債	44,400,000
工具、器具及び備品	84,831,715	長期借入金	673,668,000
リース資産	1,600,800	リース債務	1,680,840
土地	12,895,241	長期預り金	7,280,000
無形固定資産	(4,926,904)	負 債 合 計	1,208,097,594
ソフトウェア	4,926,904	【純資産の部】	

投資その他の資産	(147,892,395)	株主資本	(127,498,820)
出資金	70,000	資本金	(50,000,000)
長期貸付金	3,541,672	利益剰余金	(77,498,820)
長期前払費用	9,838,266	繰越利益剰余金	77,498,820
敷金及び保証金	134,442,457		
繰延資産	(11,723,868)		
開業費	10,536,272		
社債発行費	1,187,596	純 資 産 合 計	127,498,820
資 産 合 計	1,335,596,414	負債及び純資産合計	1,335,596,414

損益計算書

自平成 28 年 3 月 1 日

至平成 29 年 2 月 29 日

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		3,565,134,473
売 上 原 価		1,079,121,981
売 上 総 利 益		2,486,012,492
販売費及び一般管理費		2,307,353,421
営 業 利 益		178,659,071
営 業 外 収 益		
受取利息	277,677	
受取配当金	605	
受取賃借料	41,045,198	
雑収入	15,719,196	57,042,676
営 業 外 費 用		
支払利息	8,556,671	
社債発行費償却	395,856	
賃借費用	31,630,681	
支払保証料	1,165,312	
支払手数料	13,000,000	
雑損失	9,069,189	63,817,709
経 常 利 益		171,884,038
特 別 利 益		
前期損益修正益	35,472,477	
固定資産売却益	2,675,403	
貸倒引当金戻入額	2,965,321	41,113,201
特 別 損 失		
火災損失	15,332,596	
店舗閉鎖損失	18,390,855	
固定資産除却損	31,876,195	
子会社株式売却損	27,500,000	
抱合せ株式消滅損	5,400,366	98,500,012
税引前当期純利益		114,497,227

法人税・住民税及び事業税

10,352,547

法人税等調整額	-17,153,647
当期純利益	121,298,327

個別注記表

I 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

II 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

- ① 関係会社株式 移動平均法による原価法
- ② その他有価証券
- ・ 時価のあるもの 事業年度の末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
 - ・ 時価のないもの 移動平均法による原価法

③ たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 商品 最終仕入原価法
- ・ 貯蔵品 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法によっております。
- ② 無形固定資産
- ・ 自社利用のソフトウェア 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

3. 繰延資産の処理方法

- ・ 社債発行費 繰延資産に計上し、定額法(7年)により均等償却しております。

4. 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により回収不能見込額を計上してしております。
- ② 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上してしております。

5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 重要なヘッジ会計の方法

該当事項はありません。

III 会計方針の変更に関する注記

マザーズ上場に向けての会社準備の段階で平成28年2月期（第10期）より、「固定資産の減損に係る会計基準」「資産除去債務に係る会計基準」を適用しておりましたが、準備期間の延長に伴いより会社経営の実態に近い会計慣行として、「中小企業の会計に関する指針第36条」の採用を行いました。減損、資産除去債務は、固定資産処分時点が明確になった時点で関係する損益を認識しています。この結果、株主資本等変動計算書の利益剰余金の残高が減損会計の影響額15,346千円、資産除去債務の影響額20,126千円、合計で35,472千円増加しております。また、上記理由により商品等を継続販売することを条件とする専売料もその支払いを受けた日を含む事業年度の仕入割戻として計上しております。

売上原価から仕入割戻として控除されている専売料

支払を受けた日	相手先	金額
2016年3月31日	サントリービア&スピリッツ(株)	113,875千円
2016年3月25日	中山(株)	17,933千円
2016年3月10日	利根コカ・コーラボトリング(株)	12,000千円
2016年3月25日	宝酒造(株)	2,000千円
—	その他	13,570千円
	合計	159,379千円

IV 貸借対照表に関する注記

1. 担保に供している資産

該当事項はありません。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

190,590千円

3. 偶発債務

該当事項はありません。

4. 関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。

該当事項はありません。

5. 取締役及び監査役との間の取引による取締役及び監査役に対する金銭債権の総額

該当事項はありません。

6. 取締役及び監査役との間の取引による取締役及び監査役に対する金銭債務の総額

該当事項はありません。

V 損益計算書に関する注記

該当事項はありません。

VI 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の総数に関する事項

(単位：株)

株式の種類	前事業年度末の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	5,000	-	-	5,000

2. 自己株式の数に関する事項

(単位：株)

自己株式は保有していません。

3. 剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

4. 当事業年度末日における新株予約権に関する事項

	平成25年7月22日 株主総会決議分
目的となる株式の種類	普通株式
目的となる株式の数	50株
新株予約権の残高	50個

(注) 権利行使期間の初日が到来していないものを除いております。

VII リースにより使用する固定資産に関する注記

資産の種類	資産の内容及び数量等
器具備品	事務用機器一式

VIII 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社及び法人主要株主等

該当事項はありません。

2. 役員及び個人主要株主等

種類	氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	職業	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残 高(千 円)
役員	人見洋二郎	-	-	当社 代表取締役	(被所有)直接 100.0	被債務保証	店舗賃借取引(注)2	694	地代 家賃	-
						被債務保証	借入金に係る被債務保証(注)3	691,813	-	-
						被債務保証	賃貸借取引に係る被債務保証(注)4	67,766	-	-
役員	菊池秀和	-	-	当社 取締役	-	被債務保証	賃貸借取引に係る被債務保証(注)5	813	-	-

(注) 1. 記載金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っております。

3. 金融機関からの借入に対して、当社の役員である人見洋二郎より債務保証を受けております。なお、保証料の支払い及び担保の提供等は行っておりません。

4. 当社の一部店舗の賃貸借契約に基づく賃借料の支払いについて、当社の役員である人見洋二郎及び菊池秀和より債務保証を受けております。なお、保証料の支払い及び担保の提供等は行っておりません。

3. 子会社等

種類	氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残 高(千 円)
関連会社	(株)ジャポニズム	栃木県 宇都宮市	500	飲食事業	(所有)直接 100%	子会社	店舗賃借取引(注)2	864	地代 家賃	-
					(所有)直接 100%	子会社	金銭賃貸取引(注)2	13,941	地代 家賃	-

(注) 1. 記載金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っております。

IX 1株当たり情報に関する注記

- ① 1株当たり純資産額 25,499円76銭
② 1株当たり当期純利益 24,259円66銭

X 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

XI 企業結合等に関する注記

1. 結合当事企業の名称及び事業の内容、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

- ① 結合当事企業の名称及び事業の内容
結合企業
名称 ㈱ダイニングファクトリー（当社）
事業の内容 飲食業
被結合会社
名称 ㈱ジャポニズム（当社の完全子会社）
事業の内容 飲食業
 - ② 企業結合の法的形式及び結合後企業の名称
平成28年12月1日を合併期日とし、当社を存続会社、㈱ジャポニズムを消滅会社とする吸収合併であり、結合後企業の名称は㈱ダイニングファクトリーとなっております。なお、合併による新株式の発行及び資本金の増加はありません。
 - ③ 取引の目的を含む取引の概要
当社は、当社グループの一層の経営効率化を図るため、当社の完全子会社である㈱ジャポニズムと合併いたしました。
2. 実施した会計処理の概要
当社が㈱ジャポニズムより受入れた資産及び負債は、合併期日の前日に付された適正な帳簿価額により計上しております。なお、当社が保有する当該子会社株式の帳簿価額と増加株主資本との差額5,400千円については、抱合せ株式消滅損として、損益計算書の特別損失に計上しております。

XII その他の注記

（当社店舗オリオン餃子の火災事故について）

2016年7月7日に、当社オリオン餃子宇都宮西口駅前店において火災事故が発生いたしました。

火災による固定資産の滅失・撤去及び復旧等に係る費用は14,674千円、保険による収入は13,792千円、火災未決算勘定により計上を行い差引881千円が火災損失として計上されています。また借家人賠償責任による損害賠償金としての費用が20,304千円、保険による収入5,852千円、差引14,451千円が火災損失として計上されています。以上により、本件は示談により解決しその他債権債務の無いことを相互に確認しております。